

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた武蔵野市実行委員会
令和 3 年度事業報告

1 全体の取組み

1 全体の取組み一覧（当初予定）

- ① 第六回総会
- ② 東京 2020 大会観戦事業
- ③ 報告書・報告動画の作成
- ④ 第七回総会（総括）

2 各取組みについて（実績）

- ① 第六回総会 →**実施**

緊急事態宣言下での開催となったため、書面にて開催した。

日時：令和 3 年 6 月 18 日（金）

場所：書面開催

内容：令和 2 年度事業報告、令和 3 年度活動計画

- ② 東京 2020 大会観戦事業 →中止

東京 2020 大会が原則無観客での開催となったため、実施できず中止となった。

- ③ 報告書・報告動画の作成 →**実施**

東京 2020 オリンピック・パラリンピックおよびラグビーワールドカップ 2019 に向けて、これまでに当実行委員会および市が実施した事業などを、報告書および報告動画としてまとめた。

- ④ 第七回総会（総括） →**実施予定**

日時：令和 3 年 12 月 27 日（月）午前 10 時から 11 時まで

場所：オンライン / 武蔵野総合体育館 大会議室 / 武蔵野市役所対策本部室

内容：令和 3 年度事業報告、総括、報告動画視聴

2 ボランティア・市民活動・広報分科会の取組み

1 ボランティア・市民活動・広報分科会における取組み一覧（当初予定）

- ① スポーツボランティアHANDS
- ② ジュニア特派員
- ③ 魅力発信しおり
- ④ ボランティアの樹～わたしのチャレンジ～
- ⑤ 東京 2020 大会出場選手のオンライン応援・交流の発信

2 各取組みについて（実績）

① スポーツボランティアHANDS →**一部実施**

予定していた東京 2020 大会期間中のイベントなどが中止となったが、以下のイベントで活動した。また、以後使用する募集動画とグッズを作成した。

日程	内容	参加人数
11月14日	リフレッシュ体操	4名
11月20日-21日	ボッチャ東京カップ2022 予選会	4名
11月23日	ボッチャ武蔵野カップ2021	9名

② ジュニア特派員 →**実施**

オンライン取材や調べ取材なども活用し、武蔵野ジュニア 2020 通信を 2 回発行した。

	時期	内容
Vol. 5	令和3年6月	東京 2020 大会に出場が期待されている市ゆかりの選手特集
Vol. 6	令和3年12月	東京 2020 大会および市内関連イベントについて

③ 魅力発信しおり →**実施**

魅力発信しおり（「来街者歓迎しおり」から名称変更）を作成し、東京 2020 大会開催時にルーマニアオリンピック・パラリンピック選手団（ホストタウン）、日本ブラインドサッカー協会、エルサルバドルパラリンピック選手団（2018 年武蔵野市訪問）などに、合計 500 枚程度を配布した。

④ ボランティアの樹～わたしのチャレンジ～ →**実施**

成蹊大学美術部が樹のパネルを作成。東京 2020 大会直前に開催された「むさしのマルシェ（三鷹タワーズ）」にて、市ゆかりの選手への応援メッセージという形で、短冊の記載・貼付を実施した。

⑤ 東京 2020 大会出場選手のオンライン応援・交流の発信 →**実施**

本来ならば、市ゆかりの選手やホストタウンとして応援しているルーマニアの選手などと直接交流を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの交流が実施された。限られた参加者の交流のみに留めず、その交流の様子を地域メディアの媒体を使って、発信・共有するとともに、少しでも多くの方に参加型での体験を促すことで、貴重な思い出と経験の場にした。

3 スポーツ・健康分科会の取組み

1 スポーツ・健康分科会における取組み一覧（当初予定）

- ① 市ゆかりの選手応援プロジェクト
- ② 女子サッカーパブリックビューイング（P V）の開催
- ③ 特設ウェブサイトへの協力

2 各取組みについて（実績）

① 市ゆかりの選手応援プロジェクト →**実施**

時期：令和2年10月から令和3年9月まで

内容：市民が地元で東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を楽しみ、市ゆかりの選手を応援することで市とつながりを持ち、市に愛着を持つきっかけとするべく、以下の選手情報・出場情報などの発信を行った。

なお、観光・産業・交通（輸送）分科会の協力により選手を紹介するデザインの横断幕等を作成し、市民への周知を行った。

【東京2020大会で応援した市ゆかりの選手】

- ・岩渕 真奈 選手（サッカー / 女子 / 市出身）
- ・有馬 優美 選手（水球 / 女子 / 在住・在勤）
- ・吉田 拓馬 選手（水球 / 男子 / 在勤）
- ・杉原 愛子 選手（体操 / 女子 / 市内高校卒業）
- ・田中 章仁 選手（5人制サッカー（ブラインドサッカー） / 在勤）

また、これまでのイベントなどで市に協力してくれた競技の応援も行った。

【東京2020大会で応援した市ゆかりの競技】

- ・ボッチャ
- ・シッティングバレーボール
- ・車いすラグビー
- ・パラリンピックバドミントン

② 女子サッカーパブリックビューイング（P V）の開催 →**中止**

岩渕真奈選手の出場が予想される女子サッカーの試合のパブリックビューイングを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

③ 特設ウェブサイトへの協力 →**中止**

実行委員会全体として東京2020大会期間中の様々な事業・取組みをまとめたウェブサイトが発信する予定であったが、事業数が少なくなったため市の公式HPでのPRを行うこととしたため、中止した。

4 文化・交流分科会の取組み

1 文化・交流分科会における取組み一覧（当初予定）

- ① 薫風フェスタ（オリパラ特別企画）の開催
- ② 武蔵境アートイベントの開催

2 各取組みについて（実績）

- ① 薫風フェスタ（オリパラ特別企画）の開催 →**実施**

時期：令和3年10月3日（日）

内容：例年開催している薫風フェスタに、特別ゲスト（和泉元彌氏）に出演いただいた。緊急事態宣言の発出に伴い、3回（今年度計画時から2回）の延期があったが、文化の祭典でもあるオリンピック・パラリンピックを記念した特別企画として実現した。

場所：市民文化会館

- ② 武蔵境アートイベントの開催 →**中止**

令和3年7月31日（土）・8月1日（日）に、境南盆踊りの開催と合わせて、スイングビルにてオリンピック観戦（コミュニティライブサイト）とともに、文化に触れる機会を創出するイベントを準備していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

【参考】関連事業としては、以下の事業を実施した。

○ルーマニアホストタウン事業

時期：令和3年7月10日 武蔵野タワーズマルシェでの啓発ブース出展

令和3年7月～9月 東京2020大会ルーマニア出場選手の応援・交流

内容：ホストタウンであるルーマニア選手の応援やルーマニアの文化の紹介を行う。東京2020大会開催に合わせて、ルーマニア選手に向けた応援メッセージ動画を作成した。パラリンピック大会期間中は、選手村に滞在中の選手とオンライン交流を実施した。後日ダイジェスト動画を作成し、市YouTubeにより交流の様子を発信した。※ボランティア・市民活動・広報分科会の「東京2020大会出場選手のオンライン応援・交流の発信」と連動

○武蔵野アール・ブリュット展

時期：令和3年7月17日（土）～21日（水）

内容：アートを通じ、多様性の理解を深めるため、アール・ブリュット展を開催する。令和3年度は、作品を「つくる」側だけでなく、「みる」側の視点も意識し、双方が「つながる」展示をテーマとした企画展を開催。コロナ禍のもとでの試みとして、開催までの実行委員会や会場準備の様子、監修者による解説などを収めた動画、成蹊大学学生ボランティア本部 Uni. による感想などをSNSで発信した。

5 観光・産業・交通（輸送）分科会の取組み

1 観光・産業・交通（輸送）分科会における取組み一覧（当初予定）

- ① 市内三駅圏におけるまちの魅力発信プロモーション
- ② 「市ゆかりの選手応援プロジェクト」デザイナー公募・デザイン作成

2 各取組みについて（実績）

- ① 市内三駅圏におけるまちの魅力発信プロモーション → **実施**

東京 2020 大会の開催を契機として、東京を訪れる選手や観客等の来街者に、武蔵野市内の街を知り、楽しんでもらうことを目的として三駅圏において「来街者歓迎プロモーション」を実施するための準備を行っていた。

しかし、コロナ禍においては多数の人を集めるイベントや、当市に来街者を誘客するなどの事業を実施することは困難だと判断し、代わりに市民やその地域に関わる人に対して街の魅力を発信し、市、地域への愛着を高めるためのプロモーションを展開した。

【吉祥寺地区】（協力団体：吉祥寺活性化協議会）

時期：令和3年7月16日から9月5日まで

内容：コロナ禍でも前向きに頑張っている吉祥寺のまち・人を応援する写真を募集するインスタグラムキャンペーンを実施

参加投稿数：218点

【中央(三鷹)地区】（協力団体：むさしのマルシェ実行委員会）

時期：令和3年7月10日（土）

内容：タワーズマルシェでオリンピック・パラリンピック応援ブースやホストタウンブースを出展

会場：武蔵野タワーズ スカイゲートタワー（南棟）公開空地

【武蔵境地区】（協力団体：武蔵境スポーツ実行委員会）

時期：令和3年8月24日から10月31日まで

内容：武蔵境地域のスポーツ団体・個人の紹介、スポーツに関わる用品店・飲食店等の紹介、子どもが関わるスポーツ団体の紹介などを、ウェブ・SNS等で発信

発信記事数：30件

- ② 「市ゆかりの選手応援プロジェクト」デザイナー公募・デザイン作成 → **実施**

時期：（公募）令和3年4月15日（木）から5月10日（月）まで

（実施）令和3年6月から9月まで

内容：スポーツ・健康分科会で実施している「市ゆかりの選手応援プロジェクト」について周知するためのポスター・横断幕などのデザインを行うデザイナーを公募した。公募優勝者に委託して、市ゆかり選手写真を組み合わせたデザインを作成してもらい、横断幕、ポスターなどに活用した。

6 聖火リレー分科会の取組み

1 聖火リレー分科会における取組み一覧（当初予定）

- ① ボランティアの募集
- ② ボランティアユニフォームの配布
- ③ ボランティア暑熱対策飲料の配布
- ④ セレブレーション会場における来場者への応援グッズの配布

2 各取組みについて（実績）

- ① ボランティアの募集 →**ボランティア活動なし**
 - ・3/15より募集を開始し、442名から申込あり。
- ② ボランティアユニフォームの配布 →**実施**
 - ・統一ユニフォームとして、オフィシャルスポンサー「アシックス社」製の聖火リレーデザインTシャツ、ノンブランドのキャップを購入
 - ・ボランティア活動は無かったが、5月7日までにボランティアの申込をしていただいた皆様に、購入したボランティアユニフォームを配布した。
- ③ ボランティア暑熱対策飲料の配布 →**中止**
 - ・暑熱対策として、オフィシャルスポンサー「コカ・コーラ社」の飲料（アクエリアス）を購入・配布（570名分）する予定であったが、公道の走行が中止となったため、購入を中止した。
- ④ セレブレーション会場における来場者への応援グッズの配布 →**中止**
 - ・セレブレーション入場者へ応援グッズを購入・配布する予定であったが、無観客での点火セレモニー実施となったため、購入を中止した。

【参考】関連事業としては、以下の事業を実施または実施する予定である。

○東京2020オリンピック聖火リレー「点火セレモニー」の実施

時期：令和3年7月16日（金）

内容：東京2020オリンピック聖火リレーの市内公道走行が中止となり、武蔵野陸上競技場において、聖火ランナー15名によるトーチキスと最終聖火ランナーが聖火皿へ点火するセレモニーを行った。

○東京2020パラリンピック聖火リレー「武蔵野市採火式」の実施

時期：令和3年8月20日（金）

内容：東京2020パラリンピック聖火の一部となる「武蔵野市の火」を作る採火式を行った。採火方法は市民や市内障害者施設等から募集したパラリンピックへの想いを込めた絵や書に点火し、その火を「武蔵野市の火」とした。

○東京 2020 パラリンピック聖火リレー「聖火ビジット」の実施

時期：令和3年8月23日（月）

内容：東京 2020 パラリンピック聖火を展示する「聖火ビジット」が武蔵野総合体育館にて行われた。「武蔵野市採火式」に絵や書をご応募いただいた方や関係者のみを招待し、東京 2020 パラリンピック聖火と聖火リレートーチの展示を行った。

○セレブレーション会場への銘板設置

時期：令和4年2月頃を予定

内容：東京 2020 オリンピック聖火リレー点火セレモニー会場となった武蔵野陸上競技場に、レガシーとして銘板を設置する予定である。当初実行委員会事業として実施する予定であったが、大会組織委員会の承認が遅れており、実行委員会解散後に市事業として実施することとする。